

共同利用・共同研究に関わる各種お知らせ

運営会議よりお知らせ

分子科学研究所は広く分子科学分野コミュニティに開かれた運営を行うために、所内11名、所外10名のメンバーからなる運営会議を所長の下に設置しています。そこでは研究教育職員の人事、共同利用・共同研究等の研究所を運営する上で重要な事項について審議します。人事選考部会と共同研究専門委員会が運営会議の下に置かれています。また、運営会議は自然科学研究機構・機関長選考委員会（所長選考委員会）からの依頼を受けて、次期所長候補者の選考も行います（平成27年度の運営会議メンバーには、今回の川合所長の推薦に当たって大変お世話になりました）。所外10名の候補は、関連学会（分子科学会、日本化学会、日本物理学会、錯体化学会、日本放射光学会、日本生物物理学会）から推薦を受けたメンバーが参加する学会等連絡会議において選考されます。所外の方には1期2年の任期で原則2期4年をお願いすることになっており、本年度、以下のとおり半数が交代になりました。*印は人事選考部会のメンバー（運営会議の中から所内5名、所外5名）です。人事選考部会で審議決定したことは運営会議で改めて審議する必要がないことになっています。一方、共同研究専門委員会（運営会議メンバー以外も委員となる）で審議したことは運営会議でさらに審議することになっています（これに関しては、改正の余地があるかどうか、運営会議で議論になっているところです）。運営会議長、人事選考部会長、共同研究専門委員長は、それぞれ所内教授の岡本（継続）、山本（新規）、青野（継続）が務めます。また、所外の有賀教授には、新たに運営会議副議長をお願いすることになりました。

平成28年度～平成31年度運営会議所外メンバー（新規） *印は人事選考部会のメンバー（以下同様）

- *有賀哲也 京都大学大学院理学研究科教授・副学長
- 米田忠弘 東北大学多元物質科学研究所教授
- 高原 淳 九州大学先導物質科学研究所教授
- *西原 寛 東京大学大学院理学系研究科教授
- *山口茂弘 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授

以下は今年度より2期目を務められる方々です。

平成26年度～平成29年度運営会議所外メンバー（継続）

- 大西 洋 神戸大学大学院理学研究科教授
- 鈴木 啓介 東京工業大学大学院理工学研究科教授
- 高田 彰二 京都大学大学院理学研究科教授（分子研レターズ66号で執筆）
- *田原 太平 理化学研究所主任研究員（分子研レターズ69号で執筆）
- *森 初果 東京大学物性研究所教授

以下は退任された運営会議所外メンバーの方々です。これまでの多大なご支援、ご協力に感謝致します。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

平成24年度～平成27年度運営会議所外メンバー（退任）

- 朝倉 清高 北海道大学触媒化学研究センター教授
- *神取 秀樹 名古屋工業大学大学院工学研究科教授（分子研レターズ64号で執筆）
- 河野 裕彦 東北大学大学院理学研究科教授（分子研レターズ64号で執筆）
- *寺崎 亨 九州大学大学院理学研究院教授
- *水谷 泰久 大阪大学大学院理学研究科教授（分子研レターズ74号で執筆）

共同利用・共同研究に関わる各種お知らせ

共同研究専門委員会よりお知らせ

共同研究専門委員会では、分子科学研究所が公募している課題研究、協力研究、分子研研究会、若手研究会等、および岡崎コンファレンスの申請課題の審査を行っています。それぞれの公募の詳細については分子研ホームページ（<http://www.ims.ac.jp/guide/>）を参照いただきたいと思います。

共同研究の現状について、平成22年度から平成28年度前期分（平成28年6月18日現在）までの採択数の推移をまとめたものを下記に示しました。分子科学研究所は、文部科学省「ナノテクノロジープラットフォーム」事業における「分子・物質合成プラットフォーム」の実施機関となっており、通常の協力研究に加え、本事業における協力研究も実施しています。また、下表にある「特別協力研究」とは、共同利用研究の予算ではなく、自前の予算を使用して実施された共同研究です。萌芽的な段階における共同研究や、来所を伴わない共同研究などがこれにあたります。特別協力研究により共同研究の芽を見出すことができれば、是非、積極的に「協力研究」や「課題研究」に応募いただきたいと思います。

分子科学研究所では共同利用研究の枠組みを利用して、熊本地震により被災し、研究活動に支障を生じている研究者の支援を実施しています。通常の協力研究に準じて申請を受付けています。また、施設利用の枠での随時受付でも対応しておりますが、通常の施設利用の枠に収まらないものについても、施設長・センター長（例えば、機器センター所有の共同利用装置を優先的に利用したい場合は機器センター長）を所内対応者とする協力研究として受付けています。研究支援の内容については、可能な限り柔軟に対応していますので、ご要望等がある場合には、申請の際に所内対応者、あるいは共同研究専門委員会委員長にご相談下さい。また、分子研計算科学研究センター、分子研ナノプラットフォーム実施機関としての支援も実施しています。これらの詳細については、分子研ホームページ（https://www.ims.ac.jp/news/2016/04/20_3447.html）をご参照下さい。

共同利用研究の実施状況（採択件数）について

種 別	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (6月18日現在)
課題研究	0	1	1	2	1	2	2
協力研究	122	108	123	64	64	62	31
特別協力研究*				167	224	129	—
協力研究（ナノプラット）	—	—	—	51	63	64	24
分子研研究会	6	4	10	10	6	11	2
若手研究会等	1	1	1	1	2	1	1
岡崎コンファレンス	—	—	1	1	1	1	1
計	129	114	136	296	361	270	61

*平成25年度より、集計開始。平成27年度分は、後期分が未集計。

分子研研究会

開 催 日 時	研 究 会 名	提 案 代 表 者	参加人数
平成28年2月11日～12日	高輝度・高強度赤外光源の現状と展望	全 炳俊（京都大学エネルギー理工学研究所）	45名
平成28年2月23日～26日	Japan-China Joint Symposium on Functional Supramolecular Architectures	前田 大光（立命館大学薬学部）	58名
平成28年3月5日～6日	金属錯体の非対称配位圏設計と異方集積化が拓く新物質創成科学	塩谷光彦（東京大学大学院理学系研究科）	38名
平成28年3月9日～10日	触媒の分子科学：理論と実験のインタープレイ最前線	長谷川淳也（北海道大学触媒科学研究所）	35名
平成28年6月27日～28日	超機能分子の創成：合成、計測、数値が織りなす社会実装分子の戦略的設計と開発	上野 隆史（東京工業大学大学院生命理工学研究科）	29名

若手研究会等

開 催 日 時	研 究 会 名	提 案 代 表 者	参加人数
平成28年6月26日	第56回分子科学若手の会夏の学校 講義内容検討会	水野 雄太（東京大学大学院総合文化研究科）	17名

岡崎コンファレンス

開 催 日 時	研 究 会 名	提 案 代 表 者	参加人数
平成28年1月14日～17日	テンソルネットワーク：アルゴリズムと応用	鹿野 豊（分子科学研究所）	56名